

<単元> 1-① 縄文のむらから古墳のくにへ(教科書p.8~p.23)

<めあて>縄文のむらや米づくりが始まったころのむらはどのような様子だろう。

1 教科書 p.8 の「たて穴住居」の写真から、今のわたしたちと縄文時代の人々のくらしを比べましょう。

2 教科書 p.9 の「三内丸山遺跡の主な出土品」から、人々はどんな工夫をしていたのか考えましょう。

縄文土器	
土をほるための棒	
木の皮をあんでつくった入れ物	
つり針	
石皿とすり石	

3 教科書 p.9 の資料9を参考に、次の文に言葉を入れましょう。

縄文時代の人々は、春から夏にかけて、海でまぐろやぶりといった魚をとる〔 〕やしじみをとる〔 〕を行っていました。秋から冬にかけては、山や森でくりやくみをとる〔 〕やのうさぎやかもを捕まえる〔 〕を行っていました。

4 教科書 p.12~p.15 の縄文時代と弥生時代の想像図を見て、それぞれのくらしの特徴を書きましょう。

縄文時代	弥生時代

5 地図帳を使って「三内丸山遺跡」「板付遺跡」「吉野ヶ里遺跡」を調べましょう。

6 2つの時代の様子から、学習問題を作りましょう。また、作った学習問題について予想しましょう。

【学習問題】

【予想】